

1996（平成8）年度 東京大学 入試問題 第5問（文系） 解答例

一

筆者の指先に喚起されるピアノの韻律の聴覚イメージは、筆者個人の意識や欲求による身体運動を超えて生じるということ。

二

他者が介在する言葉での理解では、身体的に理解される自身の生は超えられないのに、筆者は言葉での理解を試み続けるから。

三

自己と他者の区別を超え、古来全人類に共有された普遍的な韻律の聴覚イメージが、筆者の指先内にも喚起されるということ。